

コニカミノルタグループ 2006年3月期 第1四半期決算説明会

2005年8月3日

コニカミノルタホールディングス株式会社

常務執行役 本藤 正則

● 本資料の記載情報

- ・ 本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

● 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

2005年度 1Q業績サマリー



【億円】

	a 05年度1Q実績	b 04年度1Q実績	a/b 伸張率	c 05年度上期計画	a/c 進捗率
売上高	2,440	2,620	93.1%	5,300	46.0%
売上総利益	1,171	1,167	100.3%	-	-
営業利益	182	170	107.3%	340	53.5%
経常利益	178	171	103.7%	290	61.2%
税前利益	135	161	83.7%	-	-
当期純利益	73	72	101.0%	70	104.5%
設備投資(資本的支出)	112	127	88.1%		
減価償却費	124	120	103.5%		
研究開発費	156	158	99.0%		
EPS	13.78	13.64	101.0%		
ROE(年換算)	8.48%	8.49%	99.8%		
P/L為替レート			増減		増減
US \$	107.69	109.77	2.08	105.00	2.69
ユーロ	135.57	132.28	3.29	133.00	2.57

2005年度 1Q業績 - セグメント別

【億円】

	売上高					営業利益				
	05年度 1Q実績	04年度 1Q実績	伸張率	05年度 上期計画	進捗率	05年度 1Q実績	² 04年度 1Q実績	伸張率	05年度 上期計画	進捗率
情報機器	1,372	1,370	100.2%	2,900	47.3%	143	145	98.8%	290	49.4%
オプト	247	223	111.0%	520	47.5%	36	39	93.1%	80	45.5%
フォトイメージング ¹	482	¹ 719	67.0%	1,150	41.9%	7	19	-	30	-
メディカル&グラフィック	307	281	109.3%	660	46.6%	19	17	111.5%	40	47.4%
計測	12	12	107.0%	30	41.5%	3	3	106.4%	10	34.2%
HD他	19	16	120.5%	40	47.5%	13	16	-	50	-
グループ計	2,440	2,620	93.1%	5,300	46.0%	182	170	107.3%	340	53.5%

1 04年度のフォトイメージング売上には統合による決算期変更の影響が約140億円含まれる。(売上増要因)

2 関係会社のセグメント変更実施により04年度1Q実績は05年度セグメントに組み替えて標記しております。

情報機器: 4 メディカル&グラフィック: + 4

フォトイメージング: + 1 HDその他: 1

営業利益増減分析(対前年比)



KONICA MINOLTA

	05年度 1Q実績	04年度 1Q実績	増減	【億円】				
				為替	価格及び 数量増減	コスト ダウン	経費	
情報機器	143	145	2	4	7	14	13	
オプト	36	39	3	1	0	5	7	
フォトイメージング	7	19	12	3	58	11	56	
メディカル&グラフィック	19	17	2	0	1	4	0	
計測	3	3	0	0	0	0	0	
HD他	13	16	3	0	2	1	0	
グループ計	182	170	12	5	62	34	36	

<1Q事業概況> 情報機器

プリンタの売上減少を、新製品中心に好調なカラ-MFPが補完し事業全体を牽引。

販売状況

MFP事業

カラー機は、新製品「bizhub C450」中心に好調に推移し、販売台数は前年同期比倍増。

プロダクションプリント機は、「bizhub PRO C500」及び「PRO1050」が引き続き市場に受け入れられ、前年同期比大幅増。

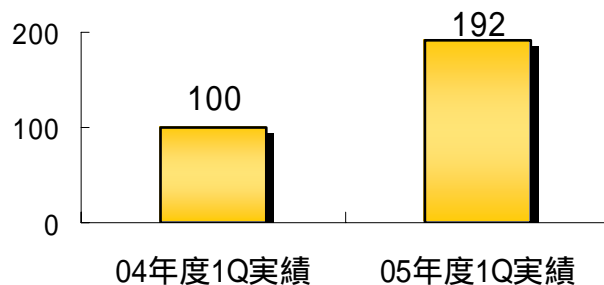
プリンタ事業

カラー機は自社ブランドが大幅伸張、一方高速機の伸び悩み及びOEMの大幅減で売上・台数ともに減少。

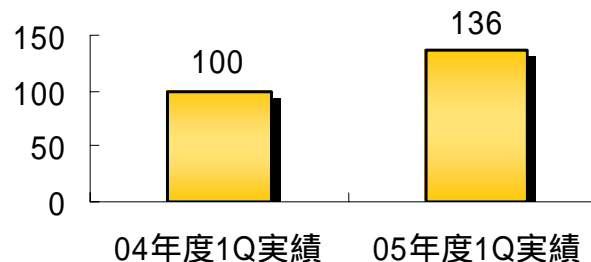
主要製品の販売数量

04年度1Qを100とした場合の指数

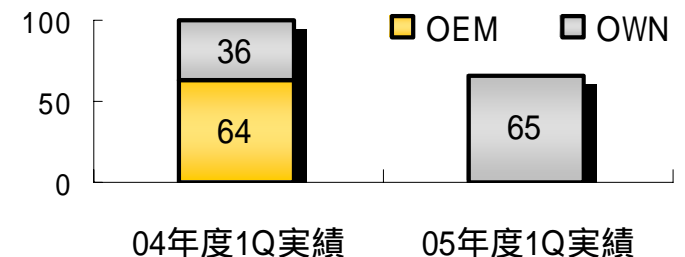
カラ-MFP販売台数



プロダクションプリント販売台数

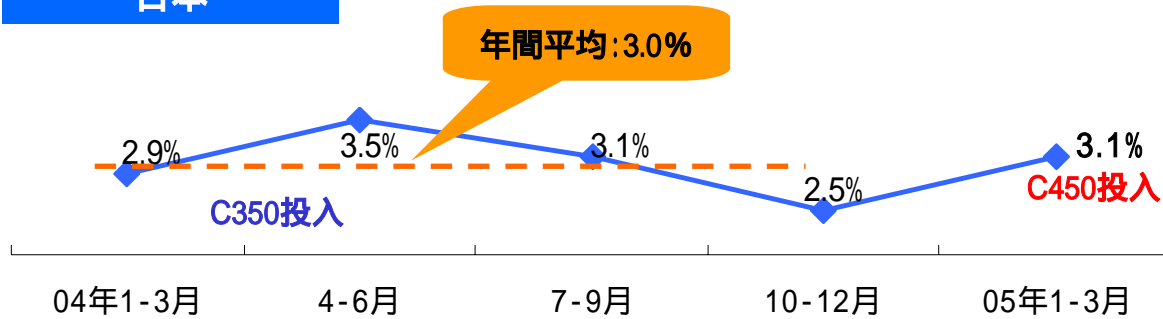


カラ-LBP販売台数



参考 カラーMFPのシェア推移(日・米・欧)

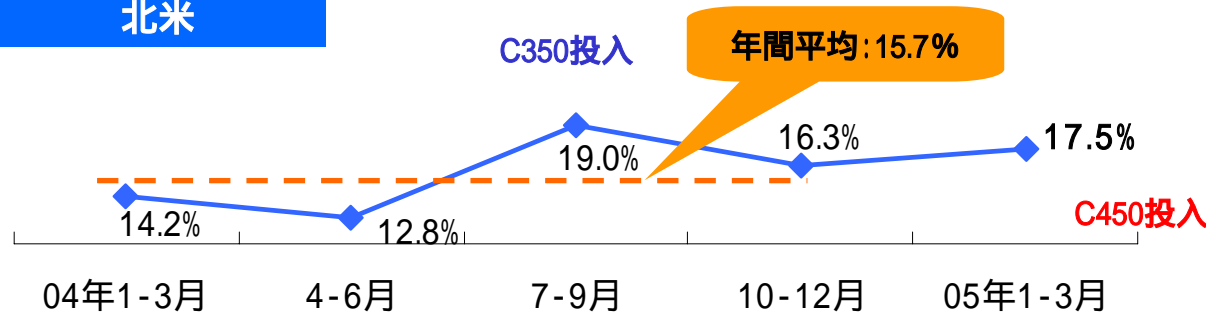
日本



<日本市場>

- 05年1-3月はFAX機能に対応したC450の05年2月投入で若干シェア拡大。
- 4月以降は、C351/C250投入で更なるシェア向上を狙う。

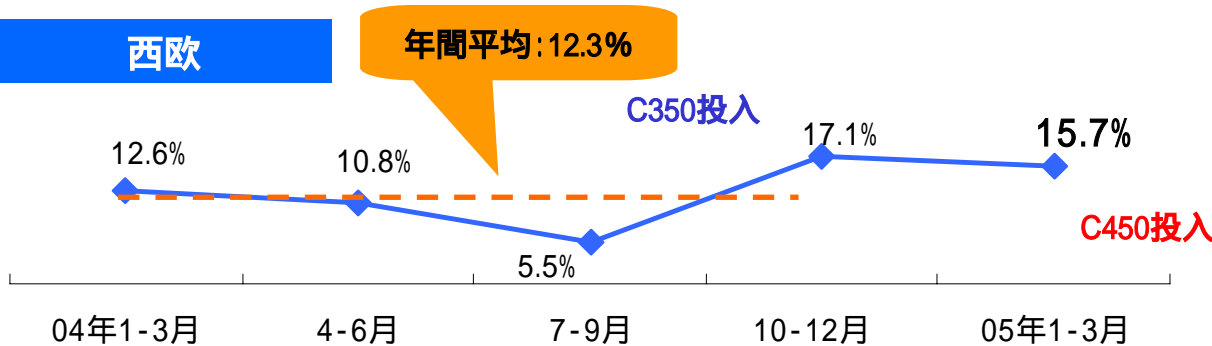
北米



<欧米市場>

- 05年1-3月はC350を中心に欧米とも前年平均を上回るシェア獲得。
- 4月以降はC450もラインに加わり更なるシェア向上を期待。

西欧



出所:データクエスト

<1Q事業概況> オプト

主力の光ピックアップレンズ、TACフィルムを中心に1Qは順調な滑り出し。

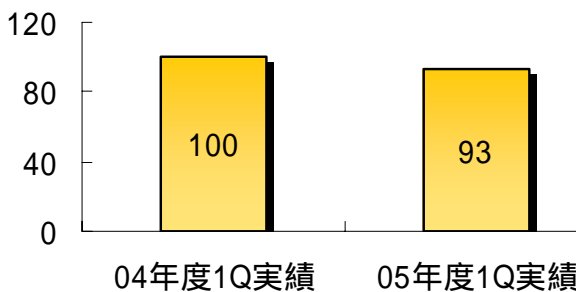
販売状況

- 光ピックアップレンズ : 好調だった前年同期に比べ数量は下回ったが市況は回復傾向。
- 液晶用フィルム : 引き続き顧客からの需要は強く、高機能品中心に大きく伸張。
- レンズユニット : DSC用は若干減少も、VCR用が大幅増。
- 携帯電話向けユニット : 高機能品への切替が進み、数量は横ばいだが金額は伸張。

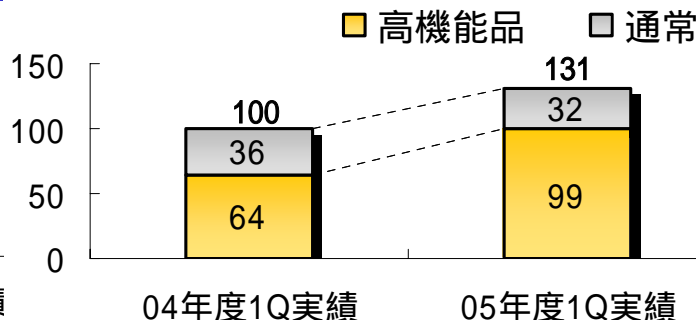
主要製品の販売数量

04年度1Qを100とした場合の指数

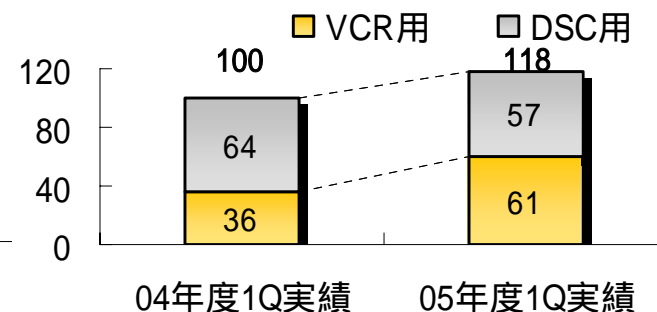
光ピックアップレンズ



液晶用フィルム



DSC及びVCR用レンズ



<1Q事業概況> フォトイメージング

カメラ事業は計画線上で推移するが、フォト事業は需要減少の影響を大きく受ける。

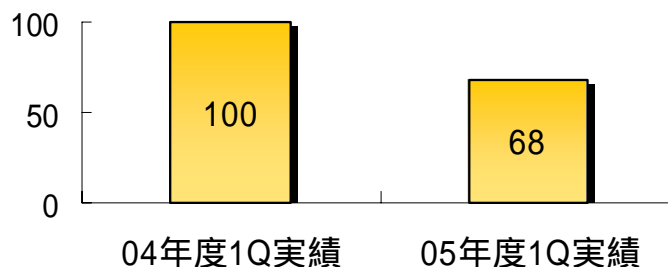
販売状況

- フォト事業： フィルム/ペーパーは、需要減少が加速化し国内外で減少。
デジタルミラホは、価格競争激化により販売減少。
インクジェットペーパーは、競争激化で国内向けが大きく減少。
- カメラ事業： 今春発売の新製品販売は順調に推移。

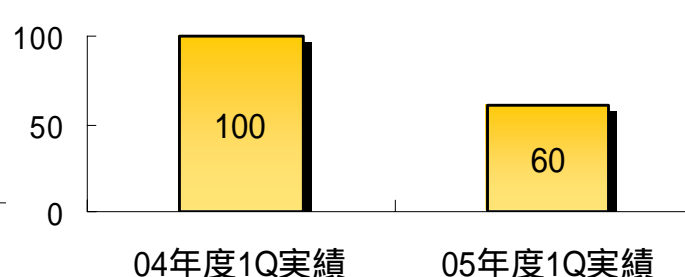
主要製品の販売数量

04年度1Qを100とした場合の指数

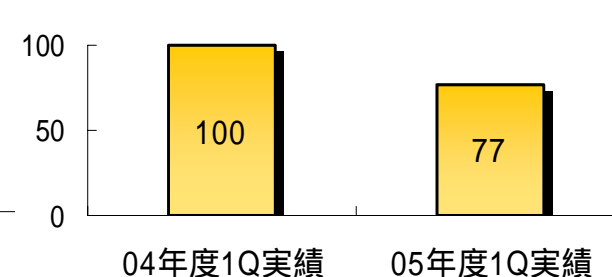
カラーフィルム販売数量



デジタルミラホ販売台数



DSCコンパクト販売台数



<1Q事業概況> メディカル&グラフィック/計測機器

販売状況

メディカル&グラフィック事業

医療分野は、デジタルX線入出力機器及びドライフィルムの販売が好調に推移。

印刷分野は、国内外ともフィルム販売は減少傾向ながらペーパーは堅調。

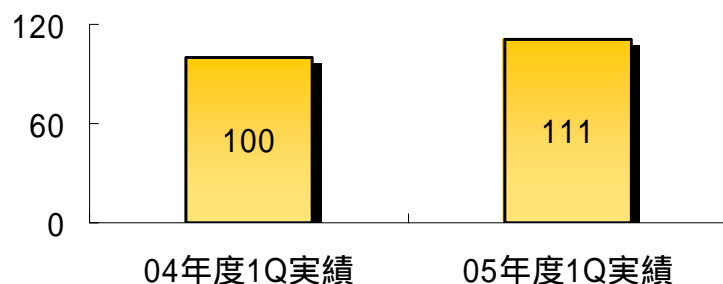
計測機器事業

ディスプレイ用色計測機器の販売が堅調。

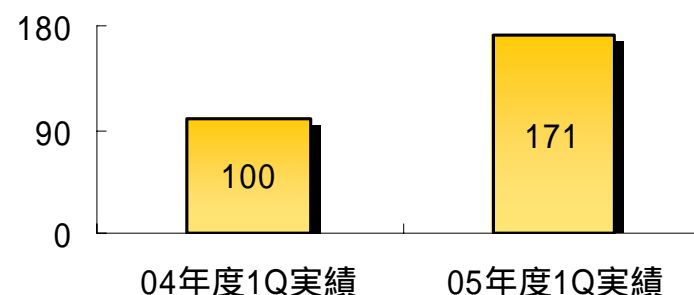
主要製品の販売数量

04年度1Qを100とした場合の指数

ドライフィルム販売数量



デジタルX線入出力機器販売台数



2005年度 上期/通期業績予想



KONICA MINOLTA

【億円】

	05年度			04年度	
	1Q実績	上期計画	通期計画	上期実績	通期実績
売上高	2,440	5,300	11,300	5,351	10,674
営業利益	182	340	900	325	676
経常利益	178	290	800	282	536
当期純利益	73	70	230	82	75
設備投資(除く投融資)	112	370	660	268	564
減価償却費	124	260	590	252	530
研究開発費	156	365	750	323	658

為替レート	US \$	107.69円	105.00円	109.86円	107.55円
	1-0	135.57円	133.00円	133.32円	135.19円

2005年度 上期/通期業績予想 - セグメント別



売上高

【億円】

	05年度予想			04年度	
	1Q実績	上期計画	通期計画	上期実績	通期実績
情報機器	1,372	2,900	6,200	2,814	5,648
オプト	247	520	1,200	440	917
フォトイメージング	482	1,150	2,300	1,428	2,685
メディカル&グラフィック	307	660	1,400	609	1,299
計測	12	30	60	26	53
HD他	19	40	140	34	72
合計	2,440	5,300	11,300	5,351	10,674

営業利益

【億円】

	05年度予想			04年度	
	1Q実績	上期計画	通期計画	上期実績	通期実績
情報機器	143	290	710	267	558
オプト	36	80	210	72	160
フォトイメージング	7	30	40	40	87
メディカル&グラフィック	19	40	90	43	67
計測	3	10	20	9	16
HD他	13	50	90	26	39
合計	182	340	900	325	676

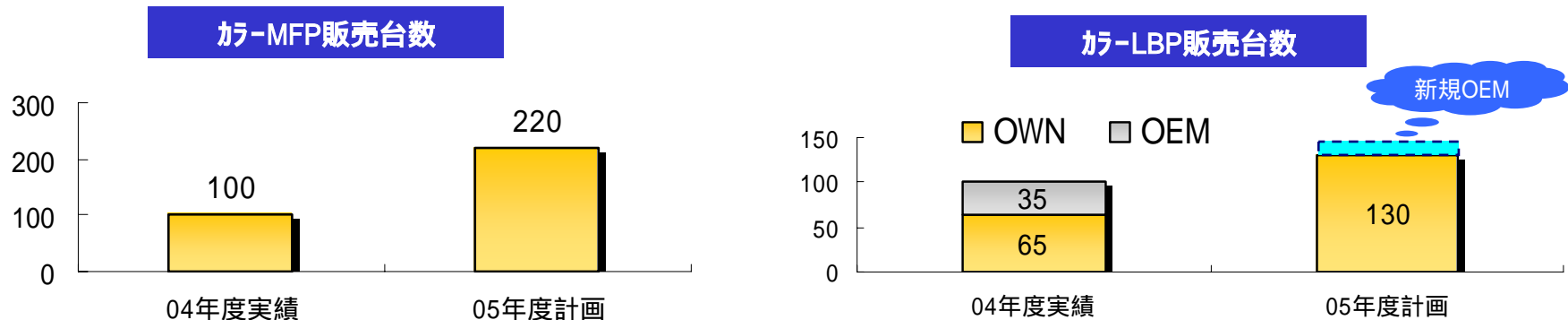
<2Q以降の取組み> 情報機器

重点方針：MFP新製品のラインアップ化とコストダウンによる増収・増益

- MFP事業： 新製品投入による売上拡大。
・カラーMFP「bizhub C351」（35枚機）、「C250」（25枚機）の市場化。
・カラーMFP販売台数の対前年比2倍強目標。
重合法トナー生産拡大、無錫工場立ち上げによるコストダウン。
- プリンタ事業： 新製品投入とラインアップ拡充。
自社ブランドカラープリンタの拡販。
新規OEMの獲得。

注力分野の販売数量

04年度を100とした場合の指数



<2Q以降の取組み>オプト

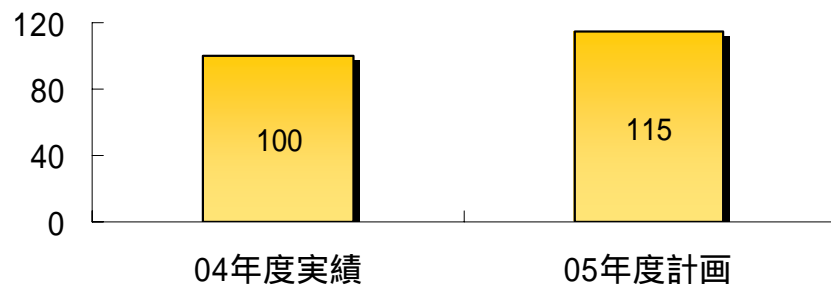
重点方針：TACフィルム・レンズユニットを中心に増収・増益

- 光ピックアップレンズ : 次世代DVDは、3Qから量産本格化の見込み。
TACフィルム : 第3ラインが3Qから本格稼動。(月産能力50%増)
レンズユニット・マイクロカメラ : 高機能製品の顧客採用機種増加による拡販。

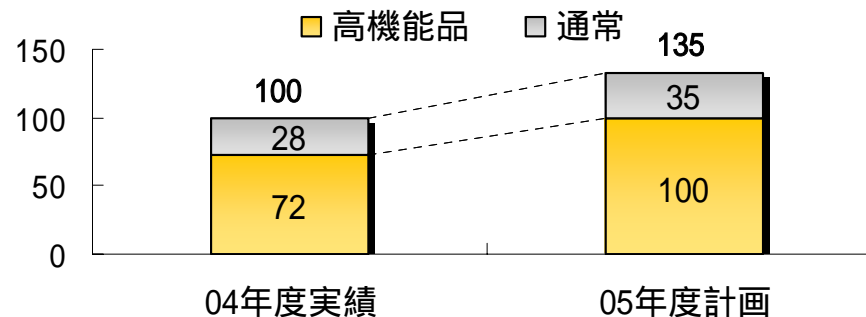
注力分野の販売数量

04年度を100とした場合の指数

光ピックアップレンズ



液晶用フィルム



<2Q以降の取組み>フォトイメージング

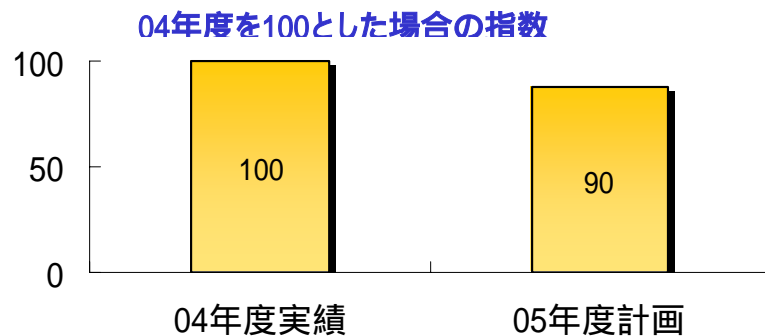
重点方針：構造改革を加速し、事業規模を最適化する事で収益改善

フォト事業： 加速する市場縮小の中で不採算な事業や取引の峻別を強化。
デジタルミニラボは新製品投入し販売強化。

カメラ事業： DSC事業は一眼レフ及び高付加価値コンパクトへ集中。
協業による開発スピードアップとシナジー効果の発揮。

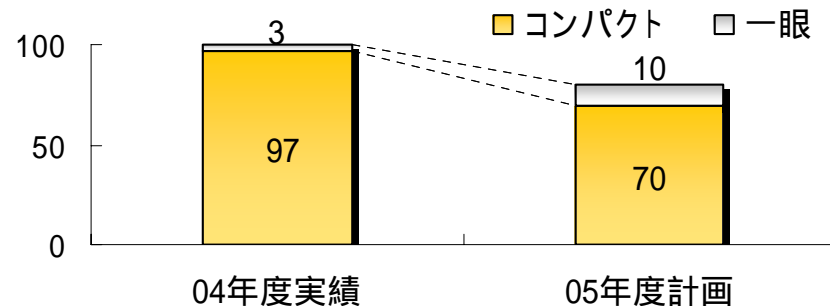
主要製品の販売数量

カラーフィルム販売数量



The essentials of imaging

DSC販売台数



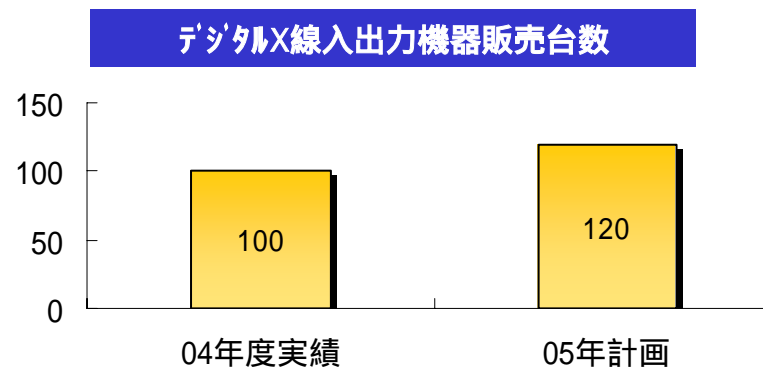
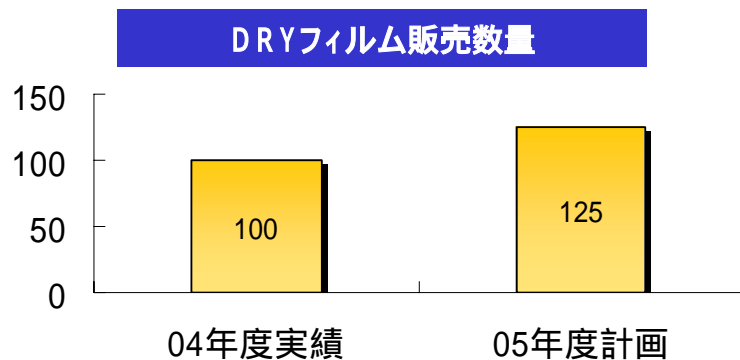
<2Q以降の取組み>メディカル&グラフィック/計測機器

メディカル&グラフィック事業

重点方針：機器の拡販とコストダウンによる収益の底上げ

メディカル：デジタル入出力機器/DRYフィルムの販売強化と
乳房X線撮影システム「PCMシステム」の設置拡大。
グラフィック：デジタル印刷機器及び色校正機器の販売強化。

04年度を100とした場合の指数



計測機器事業

重点方針：工業用計測市場をターゲットに三次元計測事業を強化

大型設備投資の進捗状況

	稼動時期	生産能力	投資額
<情報機器>			
■ 甲府プラント(重合トナー)増強	05年11月	3,000t/年増強 (甲府生産能力:8,000t/年)	30億円
■ 辰野プラント(重合トナー)建設	06年12月	7,000t/年	75億円
■ 中国、無錫工場(機器生産)建設	05年12月	50万台(07年度)	80億円
<オプト>			
■ TAC第3ライン建設	05年10月	30,000千m ² /年	80億円
■ TAC第4ライン建設	06年10月	30,000千m ² /年	100億円

連結P/L(販売費及び一般管理費)

	【億円】		
	a	b	a-b
	05年度 1Q実績	04年度 1Q実績	増減
販管費総額	989	998	8
販売費	188	211	23
人件費	400	398	2
研究開発費	156	158	2
その他	244	230	14

為替影響額: 2億円の増
前年同期比では、実質
10億円の減

連結P/L(営業外収支)

	【億円】		
	05年度1Q実績	04年度1Q実績	増減
営業外収支計	4	2	6
受取利息・配当金	5	4	1
為替差益	0	2	2
その他	18	26	8
営業外収益計	23	32	9
支払利息・社債利息	14	15	0
その他	13	16	3
営業外費用計	27	30	3

連結P/L(特別損益)

【億円】

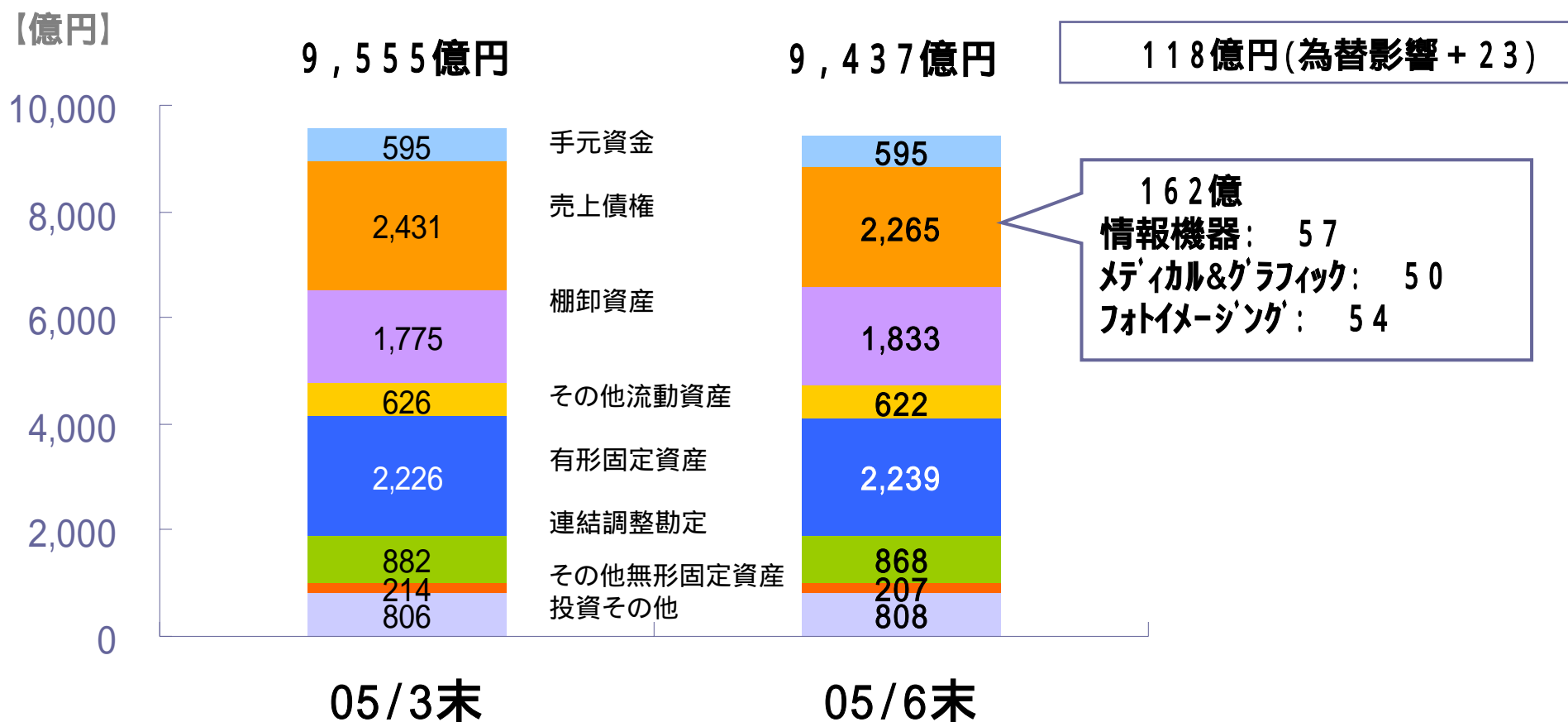
	05年度1Q実績	04年度1Q実績	増減
特別損益	43	10	33
特別利益	0	0	0
固定資産減損	39		
その他	4		
特別損失	43	10	33

- 固定資産減損内訳
- | | |
|--------------|-----|
| カラー印画紙関連生産設備 | 34億 |
| その他(社宅・寮など) | 5億 |

連結B/S (資産)

連結総資産対比 05/3末 vs 05/6末

B/Sレ-ト	05.3末	05.6末	増減
\$	107.39	110.62	+ 3.23
1-0	138.87	133.63	5.24

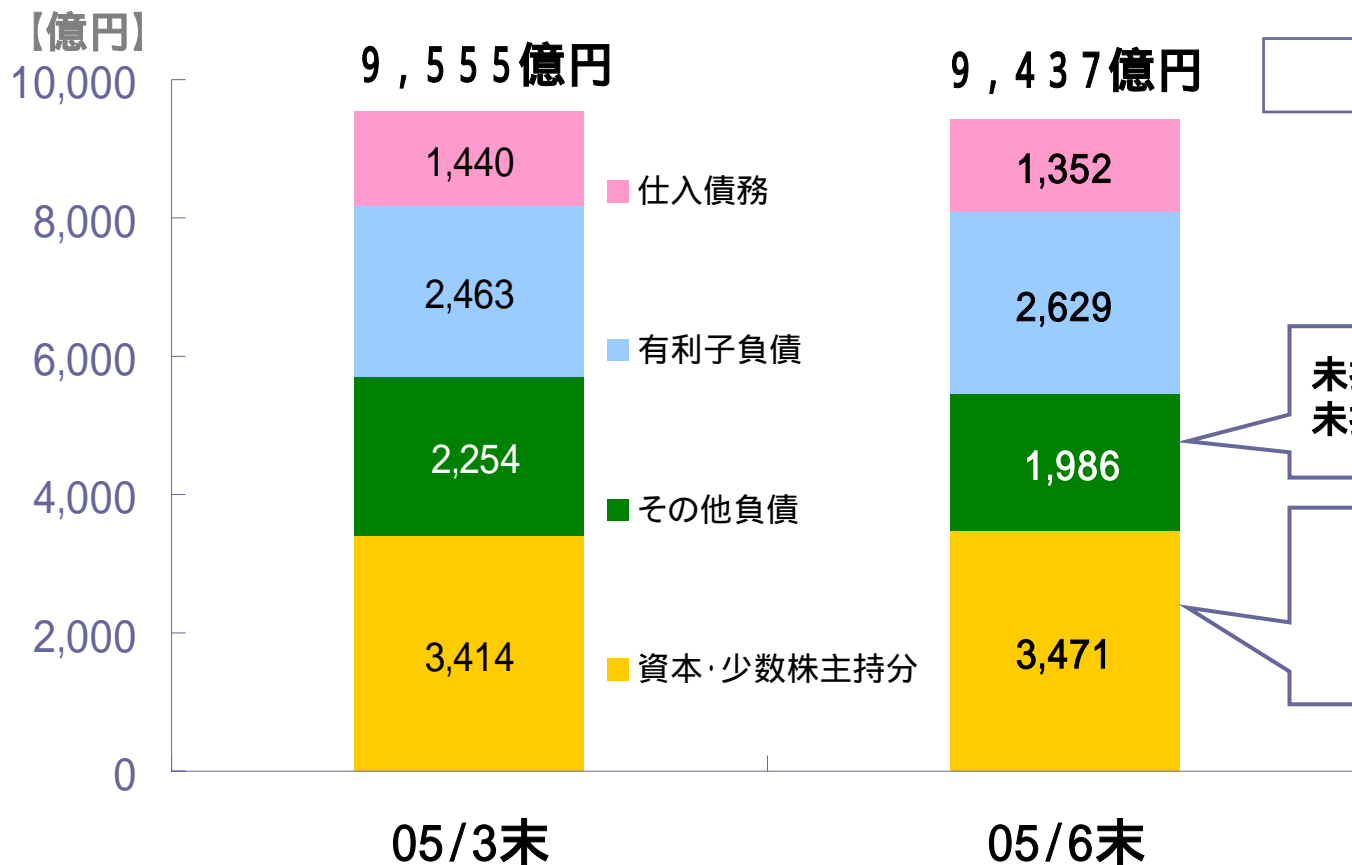


連結B/S (負債・資本)

連結負債・資本対比 05/3末vs05/6末

B/Sレト	05.3末	05.6末	増減
\$	107.39	110.62	+ 3.23
円	138.87	133.63	5.24

118億円(為替影響+23)



未払法人税 180億
未払費用 151億

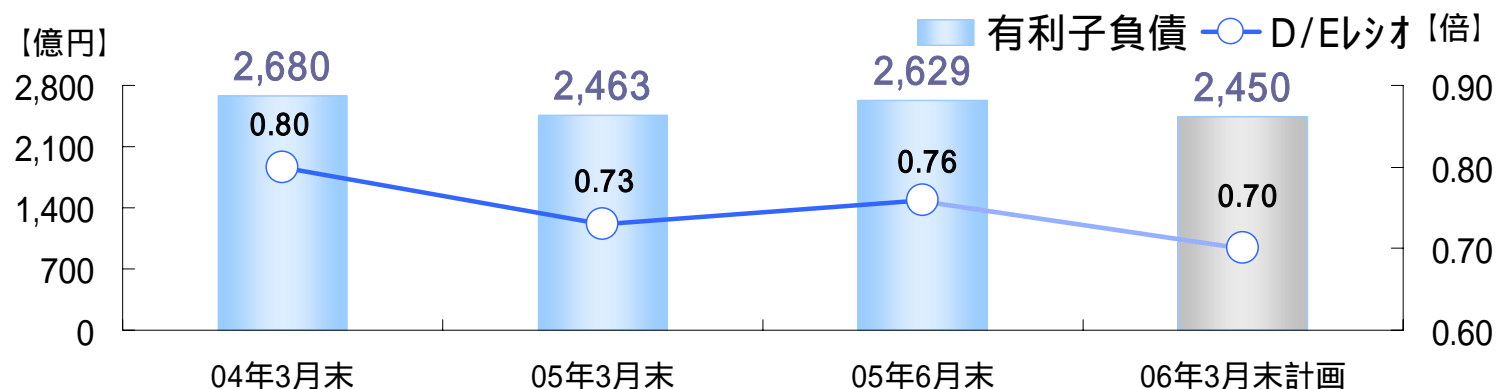
株主資本比率
05.3末 35.6%
05.6末 36.6%

連結キャッシュフロー

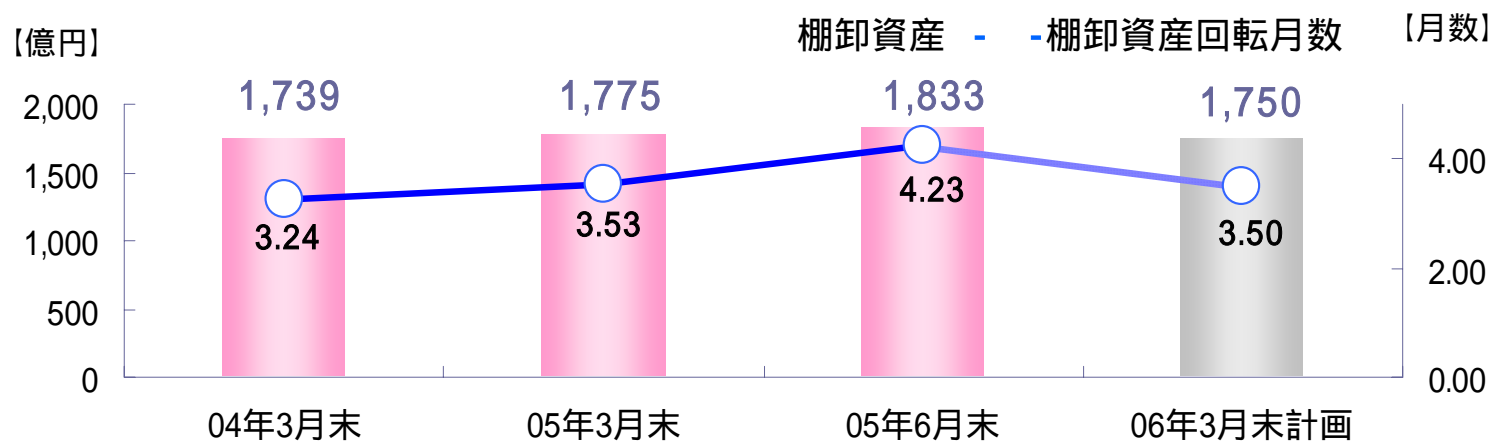
	05年度1Q実績	04年度1Q実績	【億円】 増減
税金等調整前当期純利益	135	161	26
減価償却費	124	120	4
運転資本増減他	295	336	40
営業活動によるCF	36	54	18
投資活動によるCF	120	152	32
+ FCF	156	206	50
借入金・社債の増減	179	150	29
配当金の支払額	27	25	1
その他	0	0	0
財務活動によるCF	152	124	28

有利子負債・棚卸資産

有利子負債及びD/Eレシオの推移



棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移



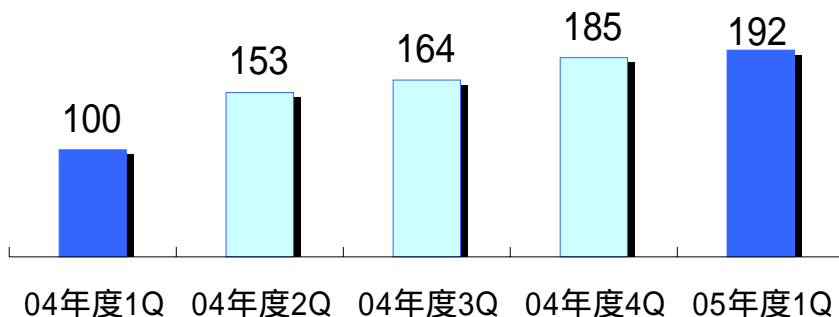
棚卸資産回転月数 = 棚卸資産の期首・期末平均 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

< 参考資料 > 主要製品販売数量トレンド - 1

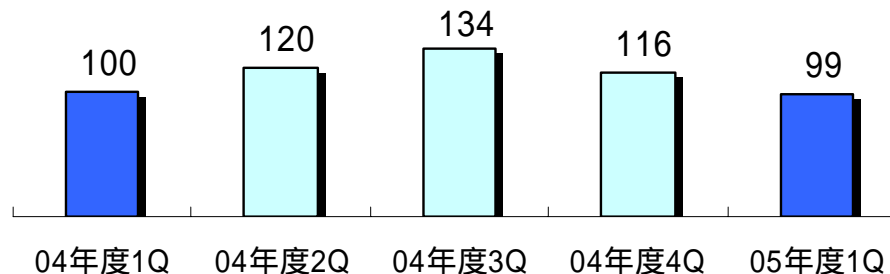
情報機器事業

04年度1Q実績を100とした場合の指数

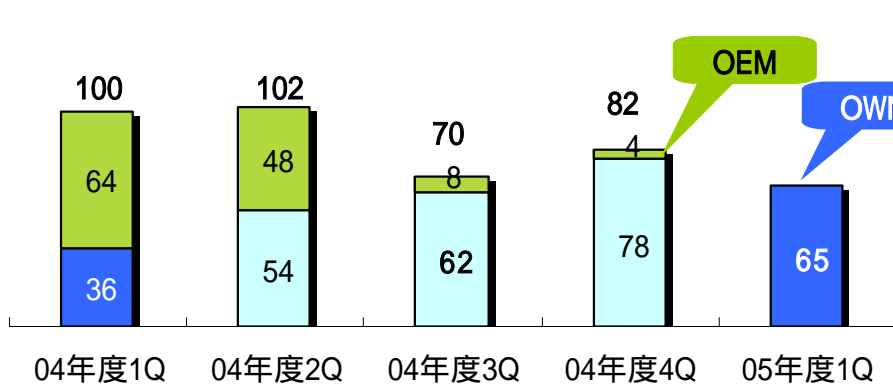
カラーMFP



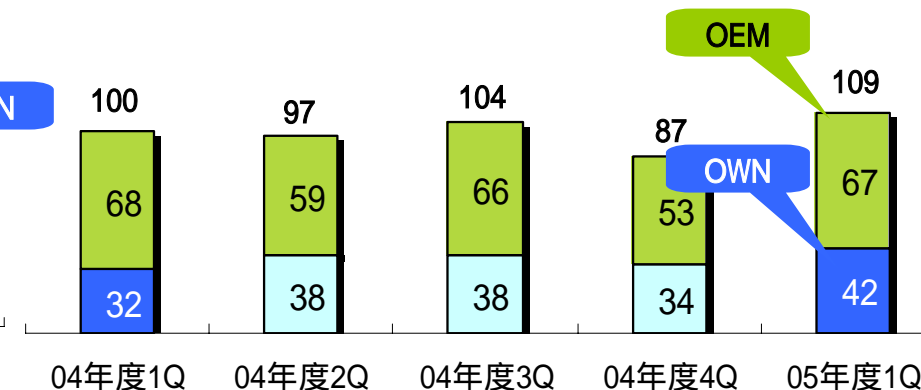
モノクロMFP



カラーLBP



モノクロLBP

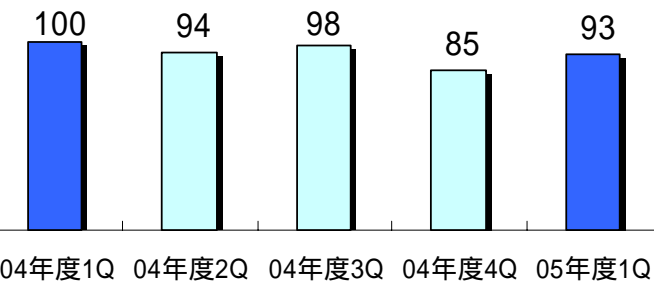


< 参考資料 > 主要製品販売数量トレンド - 2

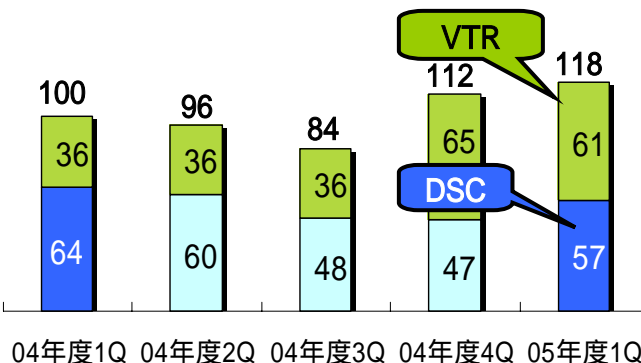
オプト事業

04年度1Q実績を100とした場合の指数

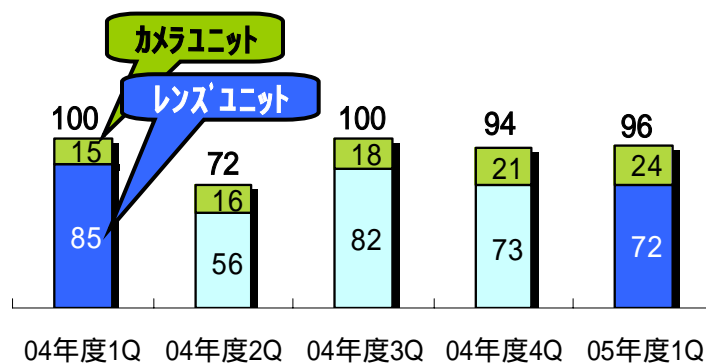
光ピックアップレンズ



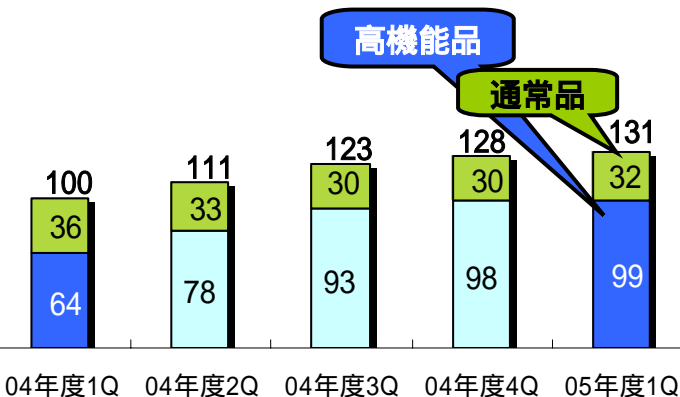
DSC用レンズユニット



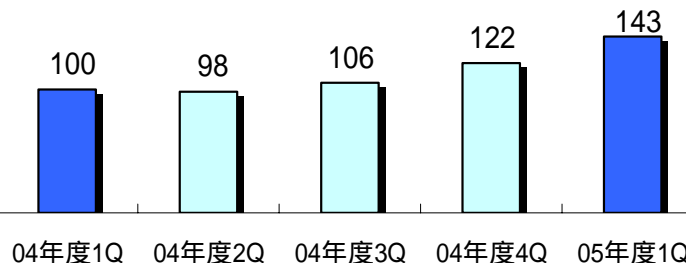
携帯電話用レンズ/カメラユニット



液晶用フィルム



ガラスハードディスク

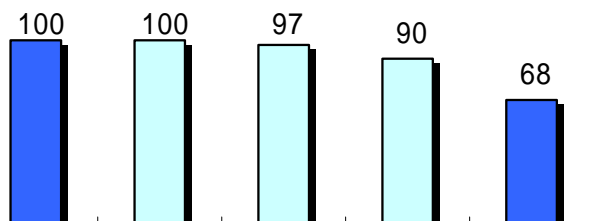


< 参考資料 > 主要製品販売数量トレンド - 3

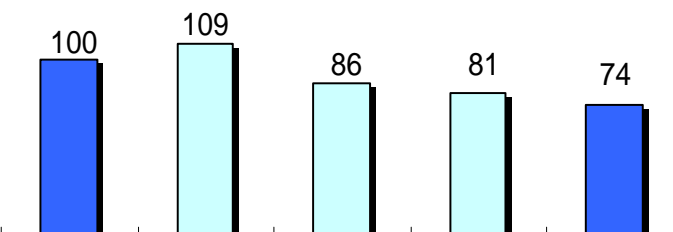
フォトイメージング事業

04年度1Q実績を100とした場合の指数

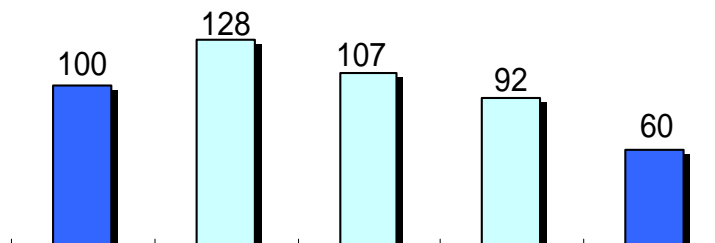
カラーフィルム



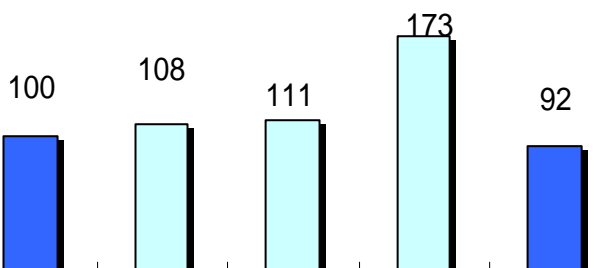
カラー印画紙



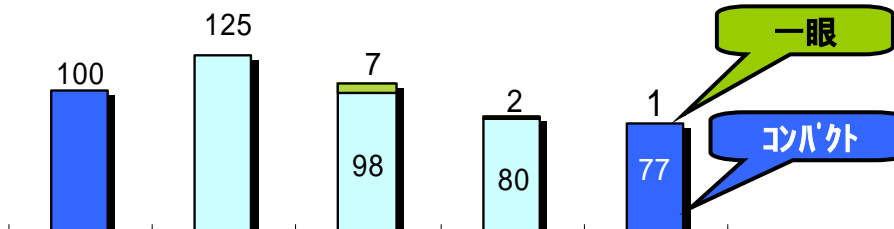
デジタルミニラボ



インクジェットペーパー



DSC



The essentials of imaging